

小倉の馬券師Tの  
**休み明けマシンガン** ©



# 第9章

中山の馬券師登場 編

#### 著作権について

本書は著作権法に基づき保護されている文書書物です。  
お取り扱いには、以下の点にご注意ください。

本書の著作権は小倉の馬券師T（大串知広）にあります。

著者の文書および、その他、著作物に関する全ての物を  
事前に許可無く本書の一部、または  
すべてのあらゆる手段による複製、流用、転写、転載など  
一切禁止しております。

#### 免責事項

本書は著者の経験により書かれているものであり  
全ての読者様の利益を約束・保証するものでは  
ございませんので、ご了承お願い申し上げます。

馬券は自己責任のもと購入してください。

## 【伝説の馬券師登場！】

小倉競馬場にて

ザワザワ

高級なスーツを着た男

『．．．

んっ！？あれは．．』

カツ カツ カツ

(高級靴ベルルッティの音)

高級なスーツを着た男

『おいっ、お前．．Ｔじゃないか？』

 小倉の馬券師Ｔ

『！！

ムムムッ、

そう言うお前は．．

中山の馬券師Ｄ！』

中山の馬券師Ｄ

『久しぶりだな。』

Ｋ君

『えっー！もしかしてその昔

”ローカルの鬼”と呼ばれていた

あの馬券師Ｄさんですか！？』

中山の馬券師 D

『いやいや、それは昔の事だよ。』

今は世界を相手にビジネスを展開  
している起業家さ。』  
(高級時計ロレックスちらり)

小倉の馬券師 T

『いったい何しにきたんや。(怒)』

中山の馬券師 D

『まあ、そう言うな。』

昔同じ先生の元で競馬を習っていた  
仲間じゃないか。』

小倉の馬券師 T

『それは過去の話や。  
今は仲間とちゃう。』

中山の馬券師 D

『相変わらずだな・・・』

まだあの事を怒っているのか。』

＊＊

その昔、小倉の馬券師 T と共に  
競馬の研究をしていた中山の馬券師 D は

二人が共同で開発した馬券術を  
こっそり内緒で競馬雑誌に投稿。

出した本がバカ売れ、一躍時の人となるが、

その後は競馬をパツタリと止め海外ビジネスの世界で成功。

土地開発と不動産バブルで数十億の資産を構築したのだった。

\*

K君

(-\_-) 『すいません、ちょっと質問なんですけど

馬券師Dさんはもうとっくの昔に競馬を止めたって聞いたんですけど、本当ですか?』

中山の馬券師D

『残念ながら今の俺は競馬とは一切関係がない男さ。』

小倉の馬券師T

『そんなヤツがなぜ小倉競馬場へ来たんや?』

中山の馬券師D

『ちょっと昔を思い出してな。

競馬場のこの雰囲気・・・なつかしいよ。

ただで飲めるこのお茶も

ズズツ

相変わらずうまいしな。』

中山の馬券師 D

『ところで、

君はK君とか言ったな。。

休み明けの話を聞いてたんだろ？

よし、俺も少し教えてやるよ。』

K君

『えっ！？

お、お願いします。』

小倉の馬券師 T

『．．．。』

## **【休み明けの馬が走らずにはいられない ザクザク儲かるドル箱コースとは！？】**

中山の馬券師 D

『よし、じゃあ俺が教えるのは  
コースについてだ。

一応休み明けで  
走りやすいコースというのが  
存在するからな。

**中京芝千二と  
京都ダート千四、阪神ダート千四。**

この3つのコースが  
休み明けと凄く相性がいい。

共通しているのは  
スタミナがそれほど必要ない  
短距離とゆうことだな。』

[今回休み明け、中京芝 千二]

単 112%	複 96%	総数 614
--------	-------	--------

[今回休み明け、京都ダ 千四]

単 103%	複 90%	総数 510
--------	-------	--------

[今回休み明け、阪神ダ 千四]

単 102%	複 89%	総数 475
--------	-------	--------

＊＊

あなたがこのデータに対して  
少しでも  
疑いの眼差しを向けられるようなら  
それは、かなり進歩している証です。

そうです、上記のデータだけでは  
信ぴょう性という部分で  
完璧ではなく

まだ実践で使うことは出来ません。

この場合、  
**もう少し大きなデータの塊で  
証明する必要があるのです。**

今回なら・・・

[休み明け千四以下]

単 88%	複 85%	総数 10416
-------	-------	----------

[休み明け千五以上]

単 83%	複 82%	総数 15579
-------	-------	----------



↑ 休み明け千四以下  
はそれ以上と比較して  
回収率が高い (大きなデータ)

[休み明け芝千二]

単 90%	複 88%	総数 2986
+ 8	+ 7	←平均との差

[休み明けダート千四]

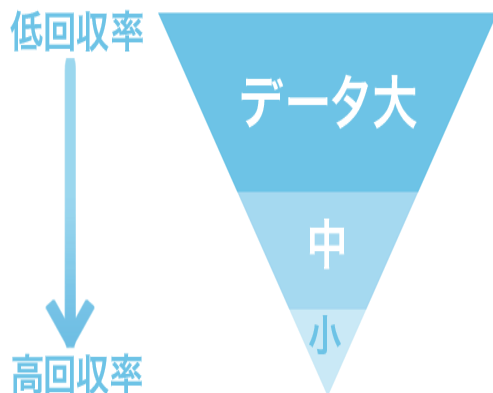
単 95%	複 90%	総数 1642
+ 13	+ 9	←平均との差

↑ 休み明け芝千二、  
ダート千四の回収率が高い。  
(中くらいのデータ)

そして複勝回収率は 90% 近くある。

このように大きな塊でみても  
回収率が高くなっているデータは

実践で使える  
信ぴょう性の高いデータと言えます。



**ファネル**をイメージするとわかりやすい。

逆にちまたにあふれている  
よくあるデータは、

→ 20 倍を超えるような高オッズを含み、

→ いきなり条件を絞り込んでいるために  
総数が少なく、

→ 大きなデータの塊で  
裏付けが取れていないので  
信ぴょう性に欠ける

ものばかりです。

\*

K 君

(^\_^) 『休み明けの弱点は  
スタミナ不足ですもんね。』

中山の馬券師 D

『そうだな。』

特に大型馬の場合

短距離が得意な傾向にあるから、

上記のコースで 500 キロを超える

大型馬が休み明けで出てきたら

かなり期待できるぞ。』

K 君

『なるほど。タメになります。』

**ブルルルルッ**

**カシャッ**

中山の馬券師 D

『・・・、分かったすぐ行く。』

**ピツ、カシャッ**

中山の馬券師 D

『仕事が入った。。』

俺はもう行かなきゃならん。

残念だがここでお別れのようだ。』

K君

『えっ、もう少し話が聞きたかったです。』

中山の馬券師 D

『そうか、ありがとよ。

あとは馬券師 T に聞いてくれ。

あれでも・・・

**競馬に命を賭けてきた男だからな。**

それじゃあ達者でな。』

小倉の馬券師 T

『・・・』

・・・まで』

中山の馬券師 D

『！？』

小倉の馬券師 T

『次に小倉競馬場に来る時は  
連絡くらいよこせ。』

席を取っというてやるから。』

中山の馬券師 D

『ふっ、ありがとよ。』

馬券師 D は足早に小倉競馬場を後にした。

K 君

『、何かと忙しい人でしたね。』

小倉の馬券師 T

『せっかちな男よ。

。。。』

K 君

『でも何で馬券師 D さんは

”中山の”

馬券師なんですか？

中山競馬場と何か関係でも

あるんでしょうか！？』

小倉の馬券師 T

『いや、それは

あいつの本名が・・・

中山 大五郎 だからや。』

K君

『ええ～！？Dは名字じゃないんスカ！』

小倉の馬券師T

『ふう、  
気を取り直して休み明けの続きや。

他に何か聞きたいことはないんか？』

## 【この2人の暴走ジョッキーに要注意！】

K君

『え、えーと、じゃあ

よく休み明けで

”調教師がリーディング上位の騎手を  
手配してきたら勝負掛かり”

みたいなこと言いますけど

実際のところはどうなんでしょう？』

小倉の馬券師T

『うーん、それか。。

結論から言うと

回収率はそんなに高くないらん。

そういう目立つ要素は  
オッズにおり込まれやすいからな。』

[今回休み明け、一流騎手]

単 87%	複 84%	総数 9710
-------	-------	---------

[前走 非一流騎手→今回一流騎手]

単 89%	複 86%	総数 3084
-------	-------	---------

\*トータル連対率が 20%を超える騎手を  
一流騎手と仮定します。

K君

『そんな劇的に成績が  
上がる訳じゃないんですね。』

小倉の馬券師T

『休み明け全体の単回収率が 85%やから、  
わずかなアップやな。』

実際、休み明けで  
リーディング上位の騎手が  
乗ってくる馬というのは

ある程度仕上がっていて  
勝負になる馬が多いと思う。

でもそれはすでにオッズに反映済みで  
回収率は高くなるのや。』

K君

『つまりバレちゃってるって訳ですね。』

小倉の馬券師T

『た、だ、し、

今から言う2人の騎手だけは  
注意せなあかん。

この2人は休み明けでも  
全く容赦せんからな。

で、  
その2人の騎手っちゅうのが・・・  
・・・

**藤田と後藤や。』**

[今回休み明け、藤田騎手]

単 101%	複 94%	総数 786
--------	-------	--------

[今回休み明け、後藤騎手]

単 100%	複 93%	総数 765
--------	-------	--------

K君

(;^\_^『確かに休み明けでも  
手加減なしって感じはします。』

小倉の馬券師T

『2人ともハングリーな騎手やからな。

**特に藤田の場合、  
逃げると決めたら絶対にハナ譲らん。**

休み明けでも気分よく行かせたら

そのまま逃げ残る可能性が大やから  
要注意やで。』

K君

『藤田騎手に競りかけたら  
後が怖そうですもんね。。』

小倉の馬券師T

『後でシメられる可能性が大や。

それと後藤騎手に関しては  
休み明け以外でも回収率が高いから、

覚えておいて損はない。』

[後藤騎手]

単 89%	複 87%	総数 5287
+7	+6	←平均との差

小倉の馬券師T

『ついでに言うと  
後藤騎手が得意なのは東京コースやな。』

[後藤騎手、東京コース]

単 101%	複 93%	総数 1622
--------	-------	---------

**\*つまり休み明け、後藤騎手、東京コースなら  
期待値は増大します。**

[休み明け+後藤騎手+東京コース]

単 114%	複 99%	総数 229
--------	-------	--------



小倉の馬券師T  
『よしK君、この辺にしとこう。』

休み明けの講義はこれでもまいや。

長かったけど  
今までよう頑張ってきた。

これで君も  
” 休み明けマスター ” やな。』

K君  
『ええ、  
今まで散々、やられてばかりで  
悔しい思いをしましたけど、

これで少し自信がつきました。

どうもありがとうございました<(\_ \_)>』

小倉の馬券師T  
『うん、だいぶ頭が混乱しとるやろうけど  
後でまとめを渡すから。

それ見てしっかり復習するように。

また実践してこそ  
本当に身に付くんやからな。』

K君  
『はいっ、  
アウトプットですね。』

小倉の馬券師T

『ところで、

ワシはしばらく旅に出ようと思う。

新しい馬券術を追求する旅にな。

競馬道に終わりは無い。

「これで十分」

と学びを止めた時点で

人間は退化が始まるんや。

更に学んで、向上し続けなければ  
この世界で生き残ることはできん。

やから君ともしばらく会えなくなるな。』

K君

『えっ！？

そ、そんな。。』

小倉の馬券師T

『大丈夫。

ワシがおらんでも

君はもう十分やっていける。

それだけの実力を身につけているよ。』

K君

『う。。。 (泣)』

小倉の馬券師T

『おっと、

ひとつ言い忘れたことがあった。

**ここまで読んでくれた君、  
どうもありがとう。**

いつかどこかでまた会おうな。』

**【あとがき】**

私は今後、これまで以上に休み明けの馬が  
穴を開けると予想しています。

なぜなら外舎などの調教施設、  
調教方法などは年々進化しており

久々による不利が少しずつ減少してきていると  
感じるからです。

休み明けの馬はこれからが面白い。

まるでパチンコの確変のように  
ジャンジャン走ってくると思いますよ。

長いレポートでしたが  
お疲れさまでした。

そして、貴重な時間を割いて読んで頂き  
本当にありがとうございます。

あなたが今後競馬の勝ち組に入って  
よりよい競馬人生を送れることを  
心から祈っております。

**感想をこちらへよろしく申し上げます <(\_ \_)>**

⇒ <http://p.tl/9hki>

\*クリック後「許可」を選択